

エリア ウェブ

峡東教育事務所
 地域教育支援スタッフ
 TEL 0553-20-2737
 FAX 0553-20-2733

回覧・配布をお願いします。増し刷り配布はご自由にどうぞ。山梨県庁のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

ご意見・ご感想はこちらまで Email : saegusa-aszn@pref.yamanashi.lg.jp

「謙虚さと向上心」

峡東教育事務所長 廣野 政明

人は、うわさ話をすることがよくあります。その中味を聞きますと、よいこともありますが悪いくちの方が多様な気がします。

なぜ、うわさ話をするか。その背景を考えてみますと様々なことが思い浮かびます。その中のひとつに「自己の存在を正当化する気持ち」や「自己優越感」があると思います。つまり、「自分がしていることの方が正しく、当たり前なことだ」とか「人より自分の方が優れている」とか。果たして本当にそうでしょうか。

表面的な部分だけを見てそう思っていたり、あるいは人間のほんのごく一部だけを取り出してそのように思っていたりするのではないのでしょうか。

確かに、「あの人は立派な人だ」などと言うことも多々あると思いますが、すべてにおいて最高に素晴らしいなどということはないでしょう。また、「あの人は駄目な人だな」と思っているのもその人のどこかに他より優れていることが多々あるものです。大きな目で見れば人間すべてが五十歩百歩の存在であると思っています。

自分はすばらしい人間だなどと思っている人がいたとしたら、大変見苦しく、滑稽にさえ思われます。

「いくら自分に完璧を求めても、完璧な人間なんてどこにもいない。

結局、自分や他人の失敗から学んでいくしかないんだ。」

(アイルトンセナ 元F1ドライバー)

最近、教育事務所の職員に「完全な人間などというものはいないと思う。間違いを起こすこともあるでしょうし、できないこともあるでしょう。だから、皆の力を合わせて頑張っていきましょう。」と話しました。

また、以前勤務していた学校でも職員に「人間、間違えることはある。間違えたら間違いを正していけばいい。誠実に、また、謙虚に。」と話しました。このことに関連して、その当時の保護者にも次のように話し、理解を求めました。「人間誰も間違えたりするのはずれたことを言ったりすることがあります。本校の職員も同様です。間違えたら飾らずに誠実に訂正するように話してありますが、間違いに気づかなかつたり、また、疑問に思ったりしたことがありましたらいつでも学校に御連絡ください。風通しのよい学校にしていきたいと思います。」と。

人には、できないことも知らないこともたくさんあると思いますが、決して卑屈になったり消極的になったりする必要はないと思います。人間誰も皆同じです。

それよりか、自分がそのような状態であるということを知ることが何よりも大切だと思います。そこから「謙虚さ」が生まれてくると思います。知らないことは知らない、できないことはできないと、ありのままの自分を認めるところからです。

人間、誰もよくなるとういう気持ちはあるものだと思っていますが、「謙虚さ」があるところからは必ず「向上心」が生まれてくると思います。

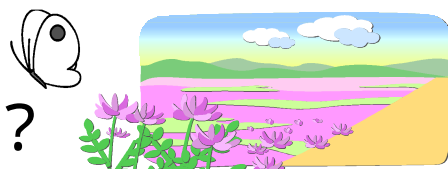
老いも若きもさまざまな教育の場や活動の場がありますが、「謙虚さと向上心」を身につけたり思い出したりできることを願ってやみません。

我以外、皆師なり。(吉川英治)

実るほど 頭のたれる 稲穂かな(諺)

「エリアウェップ」って

どんな情報誌なの？



時々こんな質問をされます。
一言で説明するのは難しいのですが、整理すると次のようなことです。

「エリアウェップ」の目的

活力ある学校づくりの推進や望ましい生涯学習社会の構築に役立てる。
子育てを中心とした様々な教育情報を広め、峡東地域の教育力の向上のために役立てる。
各情報の交流を通して、家庭・学校・地域の連携強化に役立てる。

「エリアウェップ」の内容

地域・学校・家庭での子育て。
保・幼・小・中・高・特・大の連携や学校教育について。
乳幼児からお年寄りまでの生涯学習や地域の教育情報など。

「エリアウェップ」の配布先

県下、峡東地区の214ヶ所
学校：小・中・高・特・大
幼稚園，保育所，保育園
児童センター，学童保育クラブ
県教育庁各課，関係機関
市教育委員会，福祉事務所，保健所
毎月1500部を作成し配布しています。
保育所・園や学校などで増し刷りをして各家庭に配布しています。

「エリアウェップ」の情報

いろいろな情報源をもとにしています。園長さん，学校の先生，子育てサークルや支援団体など，地域の方々の声を聞かせていただきました。取材を通して具体的な生の情報をエリアウェップに載せられたらと考えています。

毎月1回の発行を基本にしています。できるだけタイムリーな情報を提供したいと考えています。

「わが地域ではこんなことをしてるよ。」という耳寄りな情報がありましたら，いつでもお寄せください。できる限り掲載したいと思います。



“石和こどもまつり”2009

3月15日，石和スコレーセンターを会場に“石和こどもまつり”2009が催されました。前庭には笛吹消防署の消防車，地震体験車，笛吹警察署のパトカーなどが勢揃いして，乗車を体験しようと親子連れが列をつくっていました。

館内1階ロビーでは，救急救命士の指導で人形を使って心肺蘇生法を体験するコーナーやブックリサイクル，大会議室では科学実験を体験するコーナーが設けられ，子どもたちが紙ヒコーキを飛ばしたり空中に浮かんだ風船を追いかけ回したりしていました。

2階の調理室では，食生活改善推進委員さんたちの指導によるクレープ作り体験です。調理室前は長蛇の列ができ，室内は生クリームやフルーツのおいしそうなお匂いが満ちていました。

会場のあちこちに，高校生がボランティアとして会場整理や子どもたちの指導にあたっていて，円滑な運営のために若い力を発揮していたのがさわやかで頼もしく感じられました。



消防車の乗車体験



クレープに生クリームを



科学実験と工作

甲州市食育推進会議，甲州市主催 甲州市「食育」まつり

第2回甲州市食育まつりが3月7日(土)甲州市民文化ホールで開かれました。1階ロビーには「子どもたちの野菜づくり図画」が壁一面に掲示され、2階では食生活改善推進委員による「食育レストラン」、「野菜クイズ」、「学校給食の試食」等多彩なブースが設けられ、たくさんの参加者でにぎわっていました。

午後には、女優の岸ユキさんの「私大切にしている暮らし方」と題する講演会がありました。自らの体験に基づいた講演から、現代の「食」と「農」に関して様々なことを考えさせられました。



炊き込みご飯の盛りつけをする岸さん

【岸さんの言葉から】

- ・食育を学校や自治体がしなければならない時代になってしまった。
- ・子どもが好むものしか与えない家庭がある。
- ・都会では食べ方を知らないため、干シイタケや切り干し大根が捨てられている現状がある。
- ・いいものを食べていないから「キレる」子どもが現れたり、ギスギスした世の中になるのではないか。
- ・嫌な気分であったりケンカをしても、おいしい食べ物や料理が心を癒してくれる。
- ・「食」＝「生命の源」＝「自分の身体を大切にすること」
- ・自分が健康であれば人にやさしくできる。地元で採れた食材で人を養うのが基本。(地産地消)
- ・「旬」を大切にすると体がよるこぶ。季節外れの物を食べる必要はない。
夏は夏野菜(キュウリ, ナス, トマト, スイカ) 体を冷やしてくれる。
冬は冬野菜(イモ類, 根菜類) デンプン質が多く体内にエネルギーを貯蔵

【そのために岸さんが取り組んでいること】↓

- ・東京から蕪崎市へ移住し、300坪の農園を取得
- ・無農薬(殺虫剤, 殺菌剤, 除草剤を使わない)で年間を通じて農作物を栽培・・・日焼け, 筋肉痛, ヤブ蚊, ブユと格闘する日々
- ・多忙な生活の合間での農作業には、工夫と段取りが必要
- ・春には梅もぎ作業, 梅干し漬け, 梅ジュース作り, 夏には日々成長する野菜の収穫, 秋には干し柿作り, 白菜漬け, 野沢菜漬け, カブ漬け等, 保存食作りに追われる日々

【なぜ、そこまでするのか】↓

- ・季節を問わず世界中の食材が手に入る便利な現代の食生活は、大量生産、大量消費社会のために画一化、規格化された農産物に基づいているが、それは、化石燃料の大量消費と農薬、化学肥料、食品添加物の使用によって可能である。そうした食生活に対する疑問が動機となった。
- ・農作業は大変であるけれども、それは趣味ではなく本当においしい料理を作るため、生きていくために必要な生を維持をする営みととらえている。

【取材を終えて】

岸さんが「食」と「農」に関心を持つようになったのは、NHKの「明るい農村」という番組の取材で全国300地域の農村を訪れたことがきっかけだそうです。

簡便さと目新しい食材を求める一方で、伝統的な食材や昔ながらの味覚、食を通して受け継がれてきた家族や地域の人々の協働など、失なわれていったものも多くあるように思います。


これらのことに思いをめぐらせるとき、現代の食生活は果たして豊かになったのかという疑問がふつふつと湧き起こってくるのを感じました。「健康＝食べること」、「何を、どのように作り、誰と食べるか」を、子どもたちに伝えていくのも大人の役目だと考えます。

2009年度地域教育推進事業

峡東教育事務所の地域教育推進担当の業務とスタッフを紹介します。

地域教育支援スタッフは、「地域教育推進担当」、「社会教育担当」、「生涯スポーツ担当」、「山梨ことぶき勸学院担当」が共働して、峡東地域の地域教育推進のために努力しております。

昨年度同様のご支援、ご協力をお願いします。

地域教育支援スタッフ	原 喜雄・三枝 孝・田之口晃土・中村達也・精進重仁・雨宮幹雄・稲木幹夫 (計7名)
主な業務	<ul style="list-style-type: none"> ・学校，家庭，地域社会の連携推進（講演会，連携セミナー等の開催） ・地域教育啓発活動 ・家庭教育推進に関すること ・地域教育情報誌（エリアウェーブ）の発行 ・新しい学校づくり人づくり（高校入試等） ・教育相談に関すること ・成人教育の推進（山梨ことぶき勸学院など） ・青少年教育の推進（やまなし少年海洋道中，実賞など） ・社会教育の推進 ・生涯学習の振興 ・生涯スポーツの振興（総合型地域スポーツクラブ等） ・学校体育への支援 

「地域教育支援スタッフ」の自己紹介です。

【地域教育推進担当】

原 喜雄 この4月に甲州市立東雲小学校から転任しました。多くの方から寄せられる声に力をいただきながら、少しでも地域教育の推進が図れるようにがんばります。宜しくお願いします。

田之口 晃土 この4月に甲府昭和高校から転任しました。主に学校・家庭・地域社会の連携の推進，新しい高校づくり人づくり等を担当します。地域教育推進のため精一杯がんばります。

三枝 孝 2年目になります，地域教育推進、家庭教育，情報誌を担当します。皆様の子育てや地域と連携した教育に少しでもお役に立てればと思います。地域の情報や，情報誌に対するご意見をたくさんお寄せください。

【社会教育担当】 精進 重仁

社会教育を担当して2年目になります。
各市で様々な社会教育事業が実施されていますが，今後もさらに推進できるよう努力したいと思っております。よろしくお祈りします。

【生涯スポーツ担当】 中村 達也

生涯スポーツを担当して2年目になります。
各市に総合型地域スポーツクラブが設立されています。今後も，多くの方々にスポーツに親しんでいただけるよう努力していきます。

【山梨ことぶき勸学院東山梨学園担当】

雨宮 幹雄
勸学院は生きがいづくりを目指すことが目標となっています。概ね60歳以上の方が対象です。中心の学習会場は山梨市民会館で，月2回ほどの講座があります。

【山梨ことぶき勸学院東八代学園担当】

稲木 幹夫
本年度より東八代学園の担当になりました。学生の皆さん方の意欲的な学びに，少しでもお役に立てばと思っています。学習会場は，八代総合会館が中心になります。